

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

硬膜動静脈瘻に対する経動脈的塞栓術における、シャントを超えたマイクロカテーテル誘導性についての検討。

1. 研究の対象および研究対象期間

2015 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日に昭和医科大学藤が丘病院で硬膜動静脈瘻に対し治療を行った患者さん

2. 研究目的・方法

硬膜動静脈瘻（dAVF）に対する根治的経動脈的塞栓術（TAE）では、Feeder occlusionではなく、必ず静脈側まで閉塞する必要があるため、シャント部位から Drainer 起始部まで液体塞栓物質を到達させる必要があります。そのため、マイクロカテーテルはシャントになるべく近づき、マイクロカテーテル直径と血管径がほぼ同じになるいわゆる wedge position から液体塞栓物質を注入することが求められます。

しかし、近年超細径マイクロカテーテルの登場により、しばしばシャントポイントを超えて罹患静脈洞内へカテーテルを誘導できることがあり、治療上有効と報告されています。当科で治療した患者さんのデータを後方視的に検討することで、どのような場合シャントを超えたカテーテルの誘導が可能なのか検討し、今後の治療成績向上に努めます。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 7 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病名、診療録、手術記録、脳血管撮影画像

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院 脳神経外科 光樂 泰信

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 脳神経外科 氏名：光樂 泰信

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学 6号館 3階 3 1 3号室

昭和大学医学部脳神経外科学講座

電話番号： 03-3784-8605